

◆ 発達が気になる子どもたちの安心・安全のための対応マニュアル ご家庭・事業所相互掲示板 ◆

日常的な安全・衛生の対応

【お子さんへの対応】

－安全面－

- ①朝礼・終礼時に子どもたちの状況や出欠等を確認します。
- ②デイサービス、学校、ご家庭等での悩み事や困り事を確認します。
- ③活動中は、玩具の誤飲、ケガ、ケンカ、いじめ等がないかを確認します。
- ④飛出し防止のため出入口にセンサーチャイムを設置しています。
- ⑤子どもたちの活動の様子をご家庭にお伝えして状況を共有します。

－衛生面－

- ①ケガ、病気、体調不良、疲れ等の健康を確認します。
- ②子どもの様子に応じて検温や服薬を確認します。
- ③手洗い、アルコール消毒を励行します。
- ④衣服の着替えや衣服の持ち物を確認します。
- ⑤おやつ、食事時、誤飲やアレルギーを確認します。



【事業所としての対応】

－安全面－

- ①デイサービス備品、玩具や遊具等の不具合を確認します。
- ②危険を防ぐため包丁やハサミ等の調理・工作用具を管理します。
- ③送迎車両、ブレーキやタイヤ等の不具合を確認します。
- ④防犯に備えて防犯カメラ(出入口)、窓ストッパーを設置しています。
- ⑤防災に備えてAED設置、棚等の固定、避難通路の確認をしています。

－衛生面－

- ①活動場所、トイレ、車両等の清掃・消毒をします。
- ②デイサービス備品、調理器具、机、イス等の清掃・消毒をします。
- ③適切な室温・湿度の設定、エアコンや空気清浄器を設置しています。
- ④嘔吐物処理キットを準備しています。
- ⑤軽度のケガの応急医療具を準備しています。

台風・暴風等の対応

【ご利用前】

○**大阪市に暴風警報が発令した場合は、子どもたちの安全を最優先するため、原則、「臨時休業」をいたします。**

*大雨・暴風特別警報が発令した場合も同様になります。

*保護者の方が危険と判断した時は、ご利用を見合わせていただき、ご連絡をお願いいたします。



【ご利用中】

○**ご利用中に暴風警報が発令した場合は、安全を確認したうえで事業所より「サービスの中止」を保護者の方へご連絡いたします。その後、ご自宅へ送迎いたします。**

*天候・交通状況が危険と判断した時は、事業所に待機していただけます。

熱中症等の対応

☆**熱中症予防には、「暑さを避ける」「服装の工夫」「水分の補給」が大切!!**

軽度	大量の発汗、めまい、立ちくらみ など
中度・重度	手足のしびれ、頭痛、吐き気、けいれん など



○軽度の時は、「からだを冷やす」「涼しい場所へ移動」「水分の補給」をします。

○中度・重度の時は、応急手当、必要時は救急車(119番)を呼びます。同時に保護者の方へご連絡いたします。

*高温注意情報の発表や暑さ指数(WBGT)31℃以上で外出・運動を控えます。

インフルエンザ等感染症の対応

☆**感染症予防には、「手洗い・うがい」「マスク」が大切!!**

- ①発症の疑いがある場合は、集団感染を防ぐため、受診していただき、診断の報告をお願いいたします。
*学級・学校閉鎖した場合は、ご利用をご遠慮いただきます。
- ②**インフルエンザ発症(症状発症日含まず)した後5日間、かつ解熱した後2日経過してからご利用再開となります。**

＜インフルエンザ利用停止期間早見表＞

発症日	発熱								
	0日目	1日目	2日目	3日目	4日目	5日目	6日目	7日目	8日目
発症後1日目に発熱	発熱	解熱	お休み	お休み	お休み	お休み	ご利用		
発症後2日目に発熱	発熱	発熱	解熱	お休み	お休み	お休み	ご利用		
発症後3日目に発熱	発熱	発熱	発熱	解熱	お休み	お休み	ご利用		
発症後4日目に発熱	発熱	発熱	発熱	発熱	解熱	お休み	お休み	ご利用	
発症後5日目に発熱	発熱	発熱	発熱	発熱	発熱	解熱	お休み	お休み	ご利用

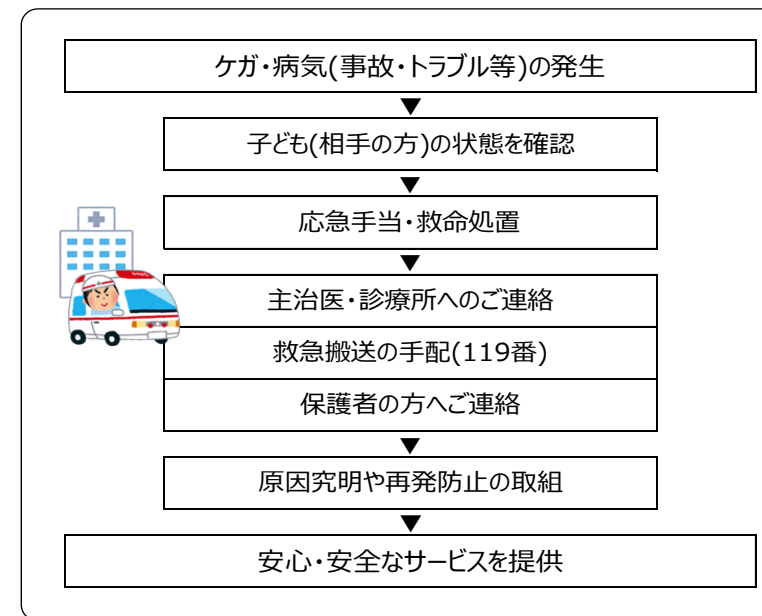
③ご利用再開時も、感染を防ぐため、治癒診断の報告をお願いいたします。

*その他、ノロウイルスや感染症の場合も同様になります。

ケガ・病気の対応

- ご利用中にケガ・病気が発生した場合は、子どもたちの状態を確認、応急手当、必要時は救急車(119番)を呼びます。同時に保護者の方へご連絡いたします。
- *緊急搬送時には、職員が付き添います。
- *万が一に備え、かかりつけ医、服薬、アレルギー等の情報をあらかじめ、教えていただきますようお願いいたします。

＜ケガ・病気発生時の対応の流れ＞



外出・送迎時の安全対応

【送迎時の対応】

- ①車両移動時は、安全のため、窓、ドア、チャイルドロック等を確認します。
- ②車内に子どもだけになる事やトラブルを防ぐため、添乗職員を配置します。

【外出時の対応】

- ①外出の現地(交通手段、危険場所、道路、川、池等)を下見します。
- ②外出時は、事故や行方不明等を防ぐため、職員を増やして配置します。
- ③外出時は、子どもたちの安否・点呼確認を定期的に行います。
- ④徒歩移動時は、車や自転車と接触がないよう車道側に職員を配置します。
- ⑤交通機関(電車・バス)移動時は、ケガや混乱等がないよう見守ります。

不審者・防犯の対応

☆**防犯には、「防犯ブザーを持つ」「駆け込み110番の家の確認」が大切!!**

- 不審者が施設内に侵入した場合は、子どもたちを守るため、職員が子どもたちを安全な場所へ避難させて警察(110番)に通報します。子どもたちが不安にならないよう、施錠できる部屋で警察の到着を待ちます。事態が収束後、事業所より保護者の方へご連絡いたします。
- 近隣で不審者情報や凶悪事件が発生した場合、危険があると判断した時は、事業所に待機していただけます。安全確認後、ご自宅へ送迎いたします。

地震・津波等の対応

【地震・津波への備え】

☆**防災には、日頃から「心の備え」「物の備え」が大切!!**

- 子どもたちと職員で防災・減災を共に学びます。
- 子どもたちと職員で防災・避難訓練を行います。
- 子どもたちと職員で避難通路・避難場所等を確認します。
- 子どもたちひとりひとりに合った防災備蓄品等を準備します。
- 日頃からデイサービス設備の固定や安全点検をします。
- 日頃から防災・減災のため、災害や気象情報等の収集に努めます。

・西成区防災マップ全域版(北部、中部、南部版)
<https://www.city.osaka.lg.jp/nishinari/page/0000228928.html>

*防災・減災の取組みへのご理解・ご協力をお願いいたします。

【地震・津波発生時】

初期対応

- ▶子どもたちが不安にならないよう安全を確保します。
- ▶窓ガラスの破損や棚の転倒から、身を守るため離れます。
- ▶落下物から頭や体を守ります。(マットやカバンなど)
- ▶揺れがおさまるまで、机の下等で頭や体を守ります。
- ▶職員で扉や窓を開けて避難通路を確保します。



提供
効果的な防災訓練と
防災啓発提唱会議

▶外出・送迎時は、安全を確保できる場所まで移動します。

▶在宅時でも、災害時の初期対応は同様になります。子どもたち・ご家族の方の身を守り、安全の確保をしていただきますようお願いいたします。

【地震・津波発生直後】

二次対応

- ▶揺れがおさまる次第、子どもたちの安否・点呼確認を行います。
- ▶職員で火元の確認、始末(必要時、初期消火)をします。
- ▶地震・津波の正確な情報を収集します。
- ▶避難通路から利用事業施設の最上階へ避難します。
- ▶エレベーターは使用せず階段にて避難します。
- ▶避難所へ行く場合は、避難先を施設出入口に掲示します。



▶外出・送迎時は、移動の安全を確保後、クリエバに合流します。

【地震・津波発生後】

- ご利用中に**震度4以下の地震が発生**した場合は、子どもたちの安全を確保したうえで「**通常どおりのサービス提供**」をいたします。送迎についても安全を確認したうえで行います。
- ご利用中に**震度5以上の地震が発生**した場合は、**子どもたちの安全を最優先するため、原則、「サービスを中止」いたします。移動の安全確保が困難なため、送迎はご遠慮させていただきます。子どもたちは、事業所に待機していただけます。**
- ▶事業所より保護者の方へご連絡いたします。(下記の緊急時連絡網等を活用)
- ▶保護者の方も安全を確保したうえで、子どもたちをおむかえに来てください。但し、津波や余震等の状況が危険と判断した時は、子どもたちと共に保護者の方もどまっております。

緊急時連絡先

＜クリエバ＞TEL:06-6567-7115 ＜連絡網＞ICT支援システム(コドモン)
(重要)速やかな連絡を行うために、ICT支援システムへのご加入をお願いいたします。